

神尾様・西山様・西尾様_収録後インタビュー

自動車整備士「これからは、断然おもしろい」編の30秒CMにご出演されました、先輩役の神尾晋一郎さん、後輩役の西山宏太朗さん、新人役の西尾桃子さんに、収録後インタビューをさせていただきました。

___収録、お疲れ様でした。

皆さん： ありがとうございます。

___CMでは、先輩・後輩・新人という役柄を演じていただきました。

実際に、神尾さんと西山さんは同じ事務所の先輩と後輩のご関係。西尾さんは、声優デビューしたということなので、どのようなお気持ちで演じていただいたか、お聞かせください。

神尾晋一郎さん（以下、神尾）：

実は芸歴でいうと、西山君が先輩なんです。年齢が上っていうだけで。

西山宏太朗さん（以下、西山）：

あと、神尾さんの声（のトーン）がね。声に異常な説得力がありますよね。

神尾：年齢的には上なので・・・、だから先輩です。

皆さん：爆笑

___本当は（先輩・後輩の役柄が）逆だったかもしれないですね。

西山：でも、神尾さんのことを後輩だと思ったことはないんですよ。

神尾：後輩に“さん”付けをしてくださるので。僕も先輩を“こうたろうくん”って呼んでいますね。

西山：仲良くさせていただいてまして。

神尾：今回の役柄がすごくリンクするというか。特に今は（声優が別々に収録する）分散収録で先輩と後輩がお話する機会も少ないので、役柄としても嬉しいですし、今日のように空いた時間に業界の話や何気ない会話ができるのは嬉しいですよね。

西山：神尾さんが仰っていたリンクする部分っていうのも、魂的な何かを受け継いでいくことが CM にもあったとおり、声優でもあるなあって感じましたし、収録の合間にもお話できたのが嬉しかったですね。

西尾桃子さん（以下、西尾）：嬉しかったです！

西山：実は、（西尾さんと）僕は初めましてです。

西尾：初めましてです。ありがとうございました。先輩とお話する機会があまりないので、お二人の会話を聞いて嬉しかったです。すごく参考になります。

神尾：僕も新人の時に先輩の会話を聞いて、技術を盗むじゃないですけども、学ぶ機会がありましたね。声優業界と自動車整備士業界で一番の違いは、最新技術の導入を見ることがあまりないのが声優業界。どちらかという、伝統というか、従来の形式で撮ってますよ、とかを学ぶことが多いのですが、自動車整備士となると本当に 10 年や 20 年でがらっと変わっていきますよね。

___先輩から受け継ぐというのは、声優業界でもよくあるのでしょうか。

神尾：うちの事務所だったら、先輩が奢るってありますよね。

西山：そうですね、先輩が財布を出すと・・・

神尾：後輩は財布を出さなくていい！みたいなね。そういう体育会的なことがありますね。
（西尾さんへ）あるんですよ。

西尾：じゃあ、私は財布をいま出さなくていいというポジションで・・・

神尾：もちろんです！

西尾：どこにいてもいいですね？

皆さん：爆笑

西山：全部、神尾さんが・・・

西尾：やったー、有難うございます！！

神尾：いや、事務所の先輩なんですよー、西山さんがね。

___ それでは西山さんが、一番先輩ということで。奢る立場であると。

西山：そういう時だけちょっと腰を低くして・・・

皆さん：爆笑

神尾：そういうことがあったりしますね。

___ ありがとうございます。今回、西尾さんは新人としてデビューされたばかりで、なにか気持ちが重なりましたか。

西尾：新人のわくわくとか、フレッシュ感とか、“これから何が待ち受けているのだろう・・・！”みたいなドキドキ感がすごくリンクするなと思いました。

西山：そのわくわく感が伝わってきて、ディレクターさんからのリクエストに対しても「はいっ！」って言いながら（西尾さんが）実際に拳を上げてて。自分で自分を鼓舞すると元気が出ます！みたいな。

西尾：“元気ー！”って！

皆さん：爆笑

西山：そういったシーンもあって、エネルギーをすごく持っている人だなんて感じて、素敵だと思いました。

神尾：フレッシュなお芝居というのは僕らがやろうとすると、もうできなくなっているの、“あ、そうか。そういうふうに出せば、フレッシュ感が出るんだ”みたいな。
今回のCMで西尾さんの「だから、面白いんですよ」というセリフがあるんですが、（上から目線になりすぎない）“わかってますよ”って感じをうまくだして演じていましたね。なんて仕事ができる新人なのだろうみたいに、逆に僕らが西尾さんから学ぶシーンもありましたね。

___CMの最後に、三人で声を揃えて「これからは、断然おもしろい。自動車整備士」というセリフがありました。西山さんが“せーの”みたいな感じで、みなさんをリードされていましたね。

西山：あの、たまたま（収録の現場で3人の）真ん中にいたので・・・

皆さん：爆笑

___芸歴の長い方がリードするルールなのかなと思っていました。

皆さん：爆笑

西山：マイクの並びで真ん中だったので・・・

神尾：真ん中の人に言ってもらったほうが大体同時にいくでしょ、という自然な流れでした。

___とても雰囲気よく収録いただきましたが、特に意識されたところや、難しい点などありましたでしょうか。

神尾：自分のなかで10年・20年・30年の技術進歩の部分と、先輩として一級整備士でいて、10年経ったら二級だった後輩が一級に上がってきて同じ目線になって、そうしたら現れた新人は始めから一級だ、みたいな。そのぐらいの楽しさがあればいいなという裏テーマを持っていましたね。こうたろう君、どうでしたか。

西山：このCMはどのような人が受け取ってくれるのだろうかということを考えていました。これから自動車整備士を目指したい、その年代の人達に届いたらいいなということを願って、特に最初のシーンでは割とフラットに“これからまだまだ吸収するぞ！”ということを意識して、段々と責任感が増えて遅くなっていく様子を表現できたらと思いました。最後の「次はどんなクルマですかね？」のセリフも、未来に向けて日本の自動車が素晴らしくなっていく期待感をうまく表現できたらと思って演じました。

___ありがとうございます。西尾さんは、いかがでしょうか。

西尾：声を揃えることが初めてでしたので、大先輩のお二人と一緒に揃える緊張感とドキドキと、ニュアンスが違ったりするとバラついてしまったりすることが、すごく勉強になりました。揃えるっていうのがすごいなと思いました。

___ありがとうございます。

最後に、今回のCMを見てくださる皆様へ向けて一言ずつメッセージをいただければと思います。

神尾：中学・高校の時に色々なものに興味を持つと思いますが、その中で例えば海外メーカーの好きな車とか、F1が好きでメカニックかっこいいなとか、導入はどこでもいいと思います。なにか一つ興味を持ったことを、より深めていこうっていう好奇心・探究心というその気持ちは、大人になればなるほど生まれにくくなる気がするので、その時の自分のフレッシュな気持ちを大事にして、自動車備士への一步を踏み出す一助にこちらの作品がなればいいなと思います。これからの人生をおおいに楽しんでいただけたら幸いです。

___ありがとうございます。西山さん、いかがでしょうか。

西山：普段から運転するのですが、車の整備が全くできなくて、当たり前かもしれないのですが、これでバリバリできたら・・・

神尾：（もし車の整備ができたなら）“えー！”ってなるよ。“できるんだ！”って、話変わってくるよってなりますよ。

皆さん：爆笑

西山：（整備は）全くできなくて。だから自動車整備士の方々に本当にお世話になっていますし、尊敬する気持ちでいっぱいです。これから自動車整備士になれる人も、今いる人もそうですし、たくさんの方々を手助けできたら・・・

神尾：その下支えというかね。縁の下の力持ちですよ。

西山：まさに仰るとおりで、多くの人のお支えになってくれているお仕事だと思いますので、興味がある人は、ぜひ追求してこれからも自動車産業を支えてくださるとすごく嬉しいなと思います。

___嬉しいお言葉の連続でありがとうございます。西尾さん、最後によろしくお願いします。

西尾：私は自動車免許も持っていないくて、“自動車整備士ってどのような仕事をしているのだろう？”と思って見た時に、様々な活躍の場があることを知って、沢山のことを学んで資格も取って、すごいなと思いました。自動車整備士になりたいって思った時から夢を叶えて、これからも様々な人の安全を守っていくってことを考えると、とてもやりがいのある仕事だなって思いましたし、私も自動車免許を取ろうと思いました！

皆さん：爆笑

___これは是非とっていただきたいですよ？

皆さん：これは是非ですね！

西尾：自動車を整備してくださっている人達がすごく尊敬に変わりました。私も車に乗って・・・

神尾：そういう気持ちが、いちばん高校生に近いね。

西尾：今からすごく大変ですけど、頑張っしてほしいなと思います！！

___本日は素晴らしい収録をありがとうございました。

皆さん：ありがとうございました。